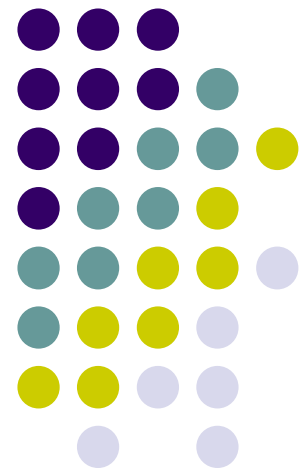


「教師教育者のためのセルフスタディ —研究の歴史・思想から実際まで—(2)」

海外セルフスタディ研究の紹介①

中国学園大学
佐々木弘記





教師教育における二つの重要な概念は、教えることを教えることであり、教えることを学ぶことである

これらの関係性が意図的に検証され、言語化されることが「教師教育におけるペタゴジーの発展」だと捉える

教えることはそもそも不確実で複雑であり、困難な営みであり、それゆえに教育実践には正解がないことを学生が理解することが必要となる

教師教育者は、自らの実践の中で直面した戸惑いや緊張を学生に提示する必要がある。それに学生が触れることで教師が実践知を働かせる過程の重要性や実践知の価値を概念化し始めることになるからである。

教師教育実践のセルフスタディがその実践知を明示し、言語化するのに役立っていると考ええる。

セルフスタディの事例①



教育実習生・ヴィッキの事例

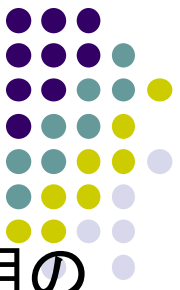
Loughran, J.J. (2006). *Developing a Pedagogy of Teacher Education: Understanding teaching and learning about teaching*. London: Routledge.

教育実習における「研究者としての実習生プロジェクト」

目的: 教育の難しさの本質, 多様な要素による教育への影響の理解,
教育実践に対するより敏感な理解,
専門家として独立し, 自立的で洗練された教師への成長

方法: 教育実習における「試行錯誤」と「振り返り」の繰り返し

教育実習生・ウィッキの事例



成果:

- ・教師-生徒間の相互作用の複雑な性質と、そうした相互作用の生徒の学びへの影響について理解が深まっている様子が描かれている。
- ・経験を通して学問知を探究することによって学問知がより深い意味を持つようになり、その活用可能性が広がる。
- ・ウィッキは明確に自身の理解の枠組みを言語化し、彼女の授業スタイルを発展させている。

『J.ロックランに学ぶ教師教育とセルフスタディ』ジョン・ロックラン他(2019)

・実習生の心の機微が生き生きと描写されている

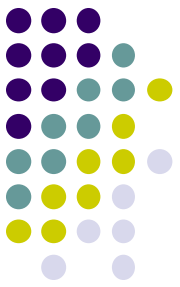
・日々の授業の中で直面する問題に焦点を当てている

・特別な教育課題ではない



セルフスタディへの期待

セルフスタディの事例②



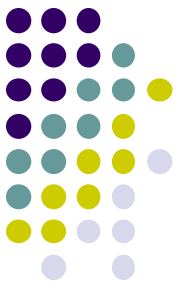
ジョン・ロックランとアマンダ・ベリーの事例

Loughran, J.J., & Russell, T.L. (Eds.) (2002). *Improving Teacher Education Practices Through Self-study*. London: Routledge.

目的: 教職科目「ペダゴジーの開発」において, 2人の担当教師が, 模擬授業の実践を通して教える事の意味を学ぶ場を創造する

方法: この科目の教え方についての議論の記録データを検討
担当教師2人が学んだこと, 原理として学んだことを概念化

ジョン・ロックランとアマンダ・ベリーの事例



成果

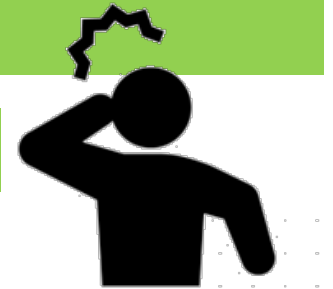
- ・金言1: 授業は道半ばのつもりで始める
- ・金言2: 教えるの可能性に敏感になる
- ・金言3: 不快な経験こそ学びの経験を構築する
- ・金言4: 信頼できる他者と経験を共有できれば, 状況が再構築される, また実践に関する仮説と向き合う機会が得られる

『J.ロックランに学ぶ教師教育とセルフスタディ』ジョン・ロックラン他(2019)

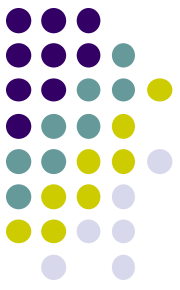
・模擬授業中に遅刻してきた学生を先生役の学生が注意をしなかったことに焦点を当てている

・その授業の展開や教材ではなく, 遅刻に対する教師の態度に焦点を当てている

・「教えるの可能性に敏感になる」と金言として概念化している



セルフスタディへの期待



・セルフスタディとは

目的

- ・自らの教師教育の実践を改善する
- ・実践知を共通言語としての言葉にする
- ・専門家のコミュニティを形成する

方法

- ・ナラティブ（逸話，エピソード，物語）
- ・物語が何を語り，どのような目的のために貢献できるかが問われなければならない

学問としての成立要件

- ・厳密なデータ収集と分析
- ・データが安定した経験的なもの
- ・方法が明瞭
- ・理論が共有されている

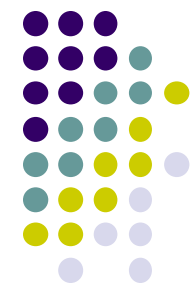
セルフスタディの特徴



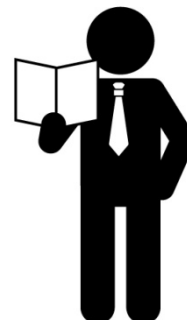
- 「金言(Axioms)」という形で概念化して示す
- 「緊張(Tension)」という表現で、教師教育の曖昧さを表す
- 「断言(assertion)」で教える事の本質を表す
- 「パラドックス」で授業活性化の方法を提示する
- 「要約陳述」でエピソードを一般化しようとする

実践知を明示化する共通言語

セルフスタディの構造



教師教育者



クリティカルフレンド



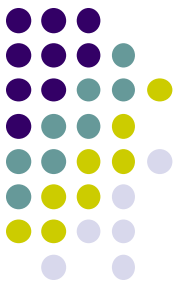
- ・現役教師
- ・新任教師
- ・教育実習生



クリティカルフレンド



Self - Study of Teacher Education Practice
(教師教育者が自らの教師教育実践について
セルフスタディを行う)



キャッスルカンファレンスに投稿(2017)

リジェクト

査読者からはS-STEPの手続きに沿うようにとの助言

S-STEPの手続き(次の文献を参照のこと)

Self-Study of Practice as a Genre of Qualitative Research: Theory, Methodology, and Practice

Pinnegar, S. & Hamilton, M. L. (2009).

セルフスタディの事例③



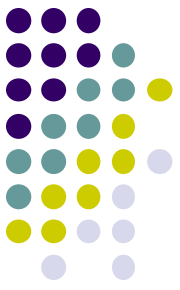
クリティカルフレンドたらしめるものは何か？ : この難解な用語を理解する我々の旅

Elizabeth Petroelje Stolle, Charlootte Frambaugh-Kriizer, Anne Freese and Andres Perrson (2018). *What makes a critical friend?: Our journey in understanding this complicated term*

目的: ヴィゴツキーのMKO, フレックのThought Collective, デューイの反省的思考の見方で, クリティカルフレンドの役割を捉え直す

方法: 2人のクリティカルフレンドをMKOとして加え, 文献調査(キャスルカンファレンス論文の分析), 月1,2回の実際の会話, メモの分析

セルフスタディの事例④



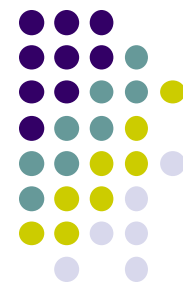
二元的な境界を押しよけるためのセルフスタディの活用： 教師教育におけるジェンダーとセクシュアリティの探究

Monica Taylor, Chedia Ayari, Roger Kintish, Necole Jedick,
Justin Lemley, Kelly Lormand, Jayne Tanis and Laura Einstein (2018).
*Using self-study to push binary boundaries orders: Exploring gender and
sexuality in teacher education*

目的: 個人, 教師, スクールリーダー, 教師教育者のジェンダーやセクシュアリティはどのようにして異性愛規範性に影響を受けたかをエスグラフィを用いて検討した際に明らかになったことは何か。そして, 異性愛規範性の境界を押しやり, 越えていくのにどうナラティブを活用するのか。

方法: ある博士課程のコースに携わる6人が, 自分の授業についての省察ログをプラットフォームで共有し, 授業の認識について議論し, 分析する。会話の記録をフィールドノートにとる。

セルフスタディの事例④



知見:

ナラティブで知見を示すことで読者の共感を得ることを期待している。

Chedia:異性愛規範を壊すのは、アラブのイスラム文化から西洋の分科へと国境を越えるようなものだ。それは自問の過程である。・・(略)

Laura:高校の数学の授業で境界をなくすにはどうするか。境界を押しプロジェクトをカリキュラムの中で実践するのが一番よいと思う。・・(略)

Kelly:私の教育者としてのゴールの一つは、文化の規範を壊し、生徒達に正常で正しく見えるものに疑問を持つよう挑戦させることだ・・(略)

Roger:学校でのジェンダーやセクシュアリティの問題に取り組むと、いかにしてこれまでの異性愛規範を打ち破るか本気で考え始めた。私の持つ偏見についても省察してみた。……(略)

学校の重苦しい規範に挑戦するのは勇気を必要とするが、我々のプロジェクトにより学校教育、高等教育の中で境界を越えられることを確信した。



引用・参考文献

- ジョン・ロックラン(監修・原著)武田信子(監修・解説)小田郁代(編集代表)齋藤真宏・佐々木弘記(編集). (2019).『J.ロックランに学ぶ教師教育とセルフスタディ-教師を教育する人のために』学文社.
- Korthagen, Loughran, J.& Russell(2006) . Developing fundamental principles for teacher education programs and practices. *Teaching and teacher education*, 22(8), 1020-1041.
- Loughran, J. (2006). *Developing a pedagogy of Teacher Education :Understanding teaching and learning about teaching* , Routledge, UK.
- Stolle, E., Frambaugh-Kriizer, C., Freese, A., and Perrson, A. (2018). *What makes a critical friend?: Our journey in understanding this complicated term* . The Twelveth International Conference on Self-Study of Teacher Education Practices. pp.147-154
- Taylor, M., Ayari, C., Kintish R., Jedick, .N, Lemley, J., Lormand, L., Tanis J.and Einstein, L.(2018).*Using self-study to push binary boundaries orders: Exploring gender and sexuality in teacher education*. The Twelveth International Conference on Self-Study of Teacher Education Practices. pp.229-23.